

2004 年度 委員会活動成果報告

(2005 年 3 月 31 日作成)

WG 名	総合都市インフラ WG	主 査 名：佐土原 聡
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学本委員会 (都市環境・都市設備小委員会)	委員長名：鉾井修一
設 置 期 間	2003 年 4 月 ~ 2005 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	地球温暖化をはじめとした地球環境問題、ヒートアイランド等の地域環境問題に対して、都市インフラ計画の面からの解決策を提示するための研究を行うことを目的とする。比較的規模の大きな都市を対象に、エネルギー、水、ゴミ、情報のインフラをより統合化するとともに自然環境を活かしたものに再構築する方策を検討する。そのために、エネルギー、水、ゴミ、情報のインフラ、共同溝等の技術に関する最新情報を収集しながら、システムについての定性的な検討を行った上で、いくつかの都市を取りあげたケーススタディをとおして、定量的に検討する。合わせて、実現のための政策的、社会的課題も整理する。	
委員構成 (委員名(所属))	佐土原 聡(横浜国立大学)、吉田 聡(横浜国立大学)、大崎 一仁((株)日建設計)、金島 正治(清水建設(株))、下田 吉之(大阪大学)、田中 俊彦(東京電力(株))、垂水 弘夫(金沢工業大学)、榎本 五郎(日本環境技研(株))、森山 正和(神戸大学)、山城 耕司(東京ガス(株))、湯浅 和博(東京工業大学)、湯屋 博史(電源開発(株))	
2004 年度予算	60,000円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	第1回：2004年9月1日、4名(サステイナブルシティWGと合同)2004年度の活動計画 第2回：2004年10月15日、6名(サステイナブルシティWGと合同)公開勉強会企画 第3回：2005年3月8日、7名(サステイナブルシティWGと合同)2005年度の活動計画 公開勉強会：2005年3月15日「サステイナブルな都市づくりと地域エネルギーシステム～都市環境工学と都市計画・地域計画の連携～」
得られた成果	(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無) 本年度は3回の委員会を開催し、活動計画、研究内容の検討、公開勉強会の企画を行い、都市計画・地域計画との連携、外部への情報発信も兼ねて、年度末に公開勉強会を開催した。同勉強会の参加者は63名と盛況で、佐土原による主旨説明の後、村木美貴氏(千葉大学)、糸長浩司氏(日本大学)、下田吉之氏(大阪大学)、村上公哉氏(芝浦工業大学)、吉田聡(横浜国立大学)、依田浩敏氏(近畿大学)、三浦秀一氏(東北芸術工科大学)からの都市計画・地域計画、大都市のエネルギーシステム、地方におけるエネルギー計画と地域活性化についてのプレゼンテーションが行われた。その後のディスカッションでは、環境工学の研究成果をまちづくりの実践、市民活動につなげるために必要なことについて議論が行われた。人のくらしがどのようなになるかがわかるような研究成果の示し方の必要性など、今後の活動につながる有用な成果が得られた。 委員会 HP アドレス：
目標の達成度	(当初の活動計画と得られた成果との関係) 公開勉強会の開催により、当初計画していたサステイナブルな都市づくり実現に向けた研究成果の公表と政策的、社会的課題の整理がほぼ達成された。
その他評価すべき事項	本WGは特に大都市を研究フィールドとしているが、地方中核都市などを対象に研究に取り組んでいるエコシティWGと合同のWG、公開勉強会を開催して連携した活動を行い、より汎用性のある研究成果が得られた。来年度は、一つのWGとして活動を始める予定である。